

## 第54回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和3年 4月22日 (木)  
書面開催とした為、レポート提出期限日を上記日程とした。
- 2 出席者 レポート提出委員 7名 青木歳男 川口良和 吉武信博  
白鳥隆之 古庄浩平 酒井裕樹  
野口紘平  
委員総数 7名
- 3 議題 「がまだすワイド801 月曜日版」  
3月8日 (月) 12:30~15:00 放送分
- 4 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。  
上記の番組について、モニター後の感想をレポートで提出いただいた。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面にて実施。
- 5 番組内容 地域密着型情報番組
- 6 審議内容
  - ・「八女っっちゃよかここボイスリレー」は福岡市出身のゲストの八女との関わりやコロナの仕事への影響など、良い質問ができていた。コロナで困った方の相談も受け付けているというゲストとのやり取りはラジオを通じた市民への手助けにも繋がったと思う。また、「八女に引っ越してきて息子の喘息が治った」「子どもたちのいじめに悩むことがなかった」など八女の魅力も盛り込まれた内容だった。コーナーが始まって、コーナー紹介までの時間が長く感じたが、パーソナリティのつなぎ方は上手だった。
  - ・「ハッシュタグFM八女」はインスタグラムと連動した良い企画だと思った。
  - ・「八女弁トランプテスト」はなぜトランプなのかがわからなかった。またクイズになった「げらい」よりも「ねざれ」のほうが、難易度が高い八女弁クイズになったと思う。
  - ・「東北からのメッセージ」では宮城県にお住まいのご夫婦が経験された震災についての貴重なお話だった。震災から10年経ったが、忘れない為にも伝えていくことは大切だと感じた。FM八女の木下晴菜さんが震災直後ボランティアに行った話も興味深かっただけに、もっと深掘して欲しかったが、木下さんが10年しっかりとつながりを築いてこられたんだなど感心した。

・「山村塾だより」のコーナーでは「コシアブラ」を食べてみたくなり、「笠原ヤギクラブ」などその他の活動も面白そうだなと思った。地元の方でも知らない話題が多く、今後の展開も楽しみである。ただ、山村の詳しい情報の需要がどれほどあるのかは疑問に思った。山村塾以外にも八女市内に様々な団体があるので、他の団体への展開についても期待したい。

・「げんき館だより」は長く感じる部分もあったが、真面目なコンテンツにもかかわらず、楽しそうな雰囲気ですらリラックスして聞くことができたのはさすがだと思った。

・「八女に住んだばい！地域おこし協力隊」のコーナーは、内輪ノリも感じたが、ただ住んでいるだけでは知りえない新店舗や取り組み、イベントなどの情報が得られる内容だった。事業主体者には情報発信能力に乏しい方もいるので、代わりに引き続き魅力発信をお願いしたい。

・「やってみよう」のコーナーではゲストの木下さんの的外れなクイズの回答にゲラゲラ笑ってしまった。狙っては言えない、木下さん無しでは成り立たないコーナーだと感じた。

・全体を通して、内容の濃い番組だった。東日本大震災や熊本地震の話題なども出て、「忘れてはいけない」ということを改めて考える貴重な回になった。電話ゲストの声は聴きにくさもあった為、技術的に改善できないものかと感じたが、ゲストへの問いかけや引き出しが素晴らしかったのはパーソナリティの素敵なお人柄だと思う。

## 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

## 9 次回の番組審議委員会

日時 令和3年6月23日（水） 午後4時00分

場所 FM 八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------